

植物紹介・フジモドキ



学名: *Daphne genkwa* Sieb. Et Zucc.

科名: ジンチョウゲ科

属名: ジンチョウゲ属

産地: 中国(原産)、韓国、台湾など

形態: 落葉小低木。

対性の葉をもち、長楕円形全緑の単葉で細毛をつける。樹高はおよそ 1m。

3~5 月にかけて、葉が展開する前に淡紫色の花を 3~8 個小枝の先に付ける。

成分: ジテルペンとして daphwanin, 3-deoxy-1,2-dihydro-3-hydroxy-(2 β , 3 β)-daphnetoxin を、フラボノイドとして genkwanin を含有する。

薬用部位: 花蕾

生薬名: 芫花 (ゲンカ)

用途: 利尿、去痰、消炎、喘息などに用いられる。ただ、毒性が強い。

ゲンカを含む漢方処方: 十棗湯(じっそうとう)、丹車丸(しゅうしゃがん)

日本では別名チョウジザクラとして観賞用の植物としてよく知られている。フジという植物と花の色や形が似ているが、名前の由来に関係ないとされている。

[参考文献]

<http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/yakusodb/detail/003695.php>

最新薬用植物学 濱川書店